

# *Rock on Green!*

## 2025年4月期 決算説明資料

2025年6月10日

株式会社グリーンエナジー&カンパニー



証券コード1436

# 株式会社グリーンエネルギー&カンパニーから投資家の皆さまへ

再生可能エネルギー市場は未来の世界的産業です。

欧米中と比較して市場形成が遅い日本市場も、これから各社の参入・形成が進みます。



当社の思想である「個人参加型持続可能エネルギー社会」に

共鳴いただける仲間（カンパニー）と共に、

日本の再生可能エネルギー市場における代表的プレイヤーとなることに照準を置いています。

## 中期経営計画「Green300」進行状況

- 「開発数最大化」戦略の元、Non-FIT開発区画数は前年対比約1.9倍と大幅伸長を実現
- 新注力事業の系統用蓄電所事業がさらに進行、開発規模拡大に加え株式会社GREEN ACTION子会社化などにより事業展開加速
- 更なる事業拡大に向けた組織体制の強化を図りつつ、DX・AI技術の活用など生産効率も追求

## 25年4月期実績

- 売上高・売上総利益・営業利益、増収増益達成（前年同期比）
- 売上高116億円（前年同期比120%）、粗利28億円（前年同期比112%）で過去最高額を記録
- 各事業の開発仕入拡大に伴い棚卸資産は順調に増加。引き続き財務の安定性を意識した経営を継続

1. 25年4月期 決算概要 … P. 5
2. 系統用蓄電所事業の進捗について … P. 13
3. 中期経営計画 Green300  
(25年4月期- 29年4月期) の進捗 … P. 17
4. 年間トピックス … P. 23
5. Appendix … P. 41

1

# 25年4月期 決算概要

# 2025年4月期 連結業績概要



売上高、売上総利益、営業利益は前年超えで推移  
 経常利益、当期純利益は株主優待制度の拡充等により減少

(単位：百万円)	24年4月期 (連結)	売上対 構成比	25年4月期 (連結)	売上対 構成比	対前年同期比	25年4月期 計画	対計画比
売上高	9,676		11,616		120.1%	11,500	101.0%
売上総利益	2,489	25.7%	2,802	24.1%	112.6%	—	—
販売費及び一般管理費	1,974	20.4%	2,259	19.4%	114.4%	—	—
営業利益	514	5.3%	543	4.7%	105.7%	600	90.6%
経常利益	502	5.2%	408	3.5%	81.2%	560	72.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	330	3.4%	275	2.4%	83.4%	360	76.5%

- 人員増強
- 系統用蓄電池事業への先行支出の増加
- 持株会社化、社名変更に伴う一時的費用等
- 株主優待拡充に伴う費用
- 新規連結に伴う支払利息増

# 2025年4月期 事業領域別の状況



フロービジネスは4Qに完成物件が集中したが着実に完成引き渡しを実現

(単位：百万円)	売上高	前年同期比	営業利益 <sup>※</sup>	前年同期比
<b>フロービジネス</b>	<b>10,346</b>	<b>121.2%</b>	<b>914</b>	<b>126.2%</b>
太陽光発電施設 当期販売区画数341区画（前年同期266区画）	3,833	124.5%	362	98.8%
ネットゼロ・エネルギー・ハウス 当期販売255棟（前年同期227棟）	6,512	119.3%	551	154.5%
<b>ストックビジネス</b>	<b>1,270</b>	<b>111.6%</b>	<b>252</b>	<b>92.7%</b>
O&M <sup>※</sup> 事業及び発電事業 当期管理件数1,893件（前年同期1,923件）	1,270	111.6%	252	92.7%
<b>合 計</b>	<b>11,616</b>	<b>120.1%</b>	<b>1,166</b>	<b>117.1%</b>

※ O&Mは、太陽光発電施設等のオペレーション&メンテナンス（施設の維持管理）をいいます

※ 営業利益は共通経費配賦前になります

# 2025年4月期 連結貸借対照表

各事業の拡大に伴い棚卸資産は順調に増加、来期以降も事業拡大を継続。

(単位：百万円)	24年4月期 期末	25年4月期 期末	対前年期末 増減額
流動資産	10,249	11,249	1,000
現金及び預金	1,569	979	▲ 590
棚卸資産	6,418	7,515	1,096
その他	2,260	2,755	494
固定資産	1,873	2,307	433
資産合計	12,122	13,557	1,434
負債	7,089	8,254	1,164
有利子負債	4,719	5,757	1,038
純資産	5,033	5,302	269
自己株式	▲ 174	▲ 144	30
負債・純資産合計	12,122	13,557	1,434

太陽光発電施設、ネットゼロ・エネルギー・ハウス用仕入に加え、系統用蓄電所用仕入が増加

棚卸資産増加に伴う借入増



# 2025年4月期 連結キャッシュ・フロー

中期経営計画Green300の開発規模拡大に伴う棚卸資産増により営業CFが減少  
太陽光発電施設に加え系統用蓄電所の開発も拍車がかかる

(単位：百万円)	24年4月期	25年4月期	対前年 増減額
営業活動によるCF	570	▲ 961	▲ 1,531
投資活動によるCF	▲ 310	▲ 663	▲ 353
財務活動によるCF	▲ 728	1,032	1,760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	▲ 468	▲ 592	▲ 123

太陽光発電施設、系統用蓄電池及び  
ネットゼロ・エネルギー・ハウスの棚卸資産の増加

棚卸資産増加に伴う借入増

既存事業に加え系統用蓄電所事業を強化、積極的なAI導入など生産性の改良にも着手・強化

## 事業方針

中期経営計画 Green300  
(2年目)

NonFIT太陽光発電所

ネットゼロ・エネルギーハウス

★ 系統用蓄電所  
(注力事業)

売上規模拡大

## 生産性強化 DX投資

コーポレート機能スリム化

AI導入

収益性改善取り組み

## 人的資本投資

社内制度強化継続

グリーンエネルギー大学拡張

幹部人財育成

人材育成投資

# 2026年4月期 連結業績予想



売上高は過去最高額140億円（対前年比120%）を目標、6期連続増収・2期連続増収増益を目指す

（単位：百万円）	25年4月期 実績	26年4月期 予想	対前年比 通期
売上高	11,616	14,000	120.5%
営業利益	543	700	128.9%
経常利益	408	520	127.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	275	380	138.2%

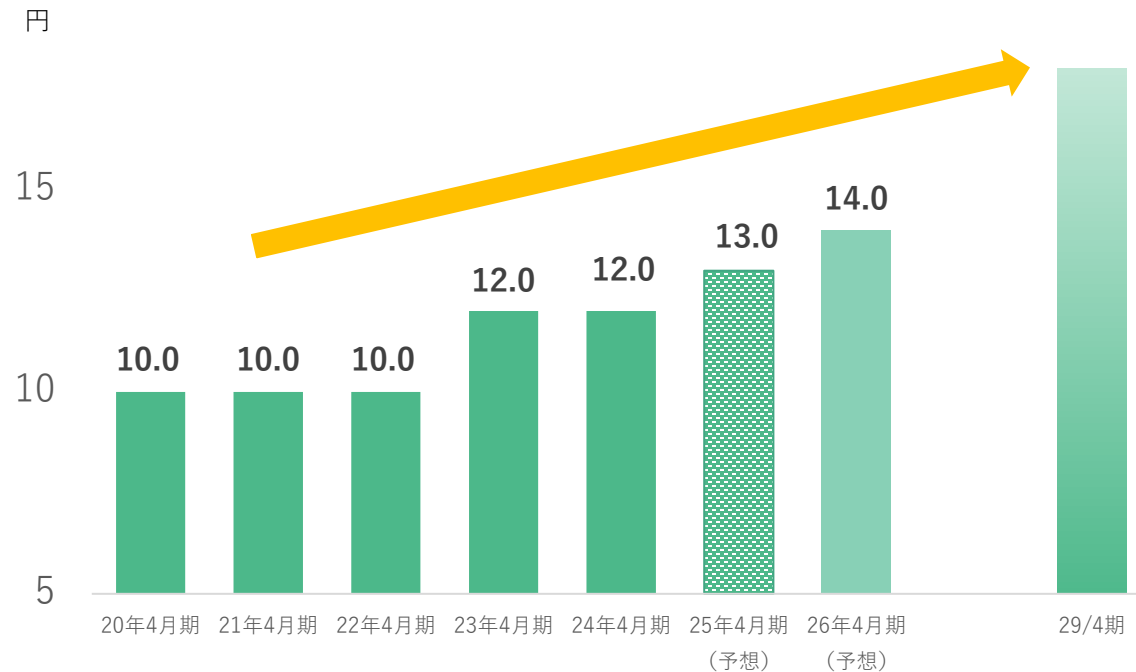
• 主力の太陽光発電施設、ネットゼロエネルギーハウスに加え系統用蓄電所で当期も前年比120%成長を目指す

• 開発強化や各種先行投資を図り営利率5%水準を目論むが、並行して生産効率改良にも取り組み、来期以降の営利率改善を図る

累進配当と株主優待の両面で高い株主還元を実現

## 配当性向

累進配当で長期的増配を目指す  
配当性向は15%を目標



## 株主優待

デジタルギフト  
30,000円

対象：300株以上保有株主  
6ヶ月以上の保有

4月末・10月末各時点  
15,000円分

# 2

## 系統用蓄電所事業の進捗

系統用蓄電所 2029年4月期までに1,000MWhの開発目標を設定



## 系統用蓄電所



## 開発・施工目標

2029年4月まで

# 累計 1 GWh

(1,000MWh)

開発目標における詳細な情報や数字の開示は  
1年程度の事業推進を経たうえで検討致します。

注力事業である系統用蓄電池の推進を一層強化して参ります

# 26年4月期の開発・施工の進捗について

26年4月期の開発・施工物件は順調に進行、既に当期目標件数分は着工見込に入る

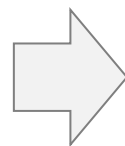
## 開発・施工（実績 & 予定）

### 25年4月期（実績）

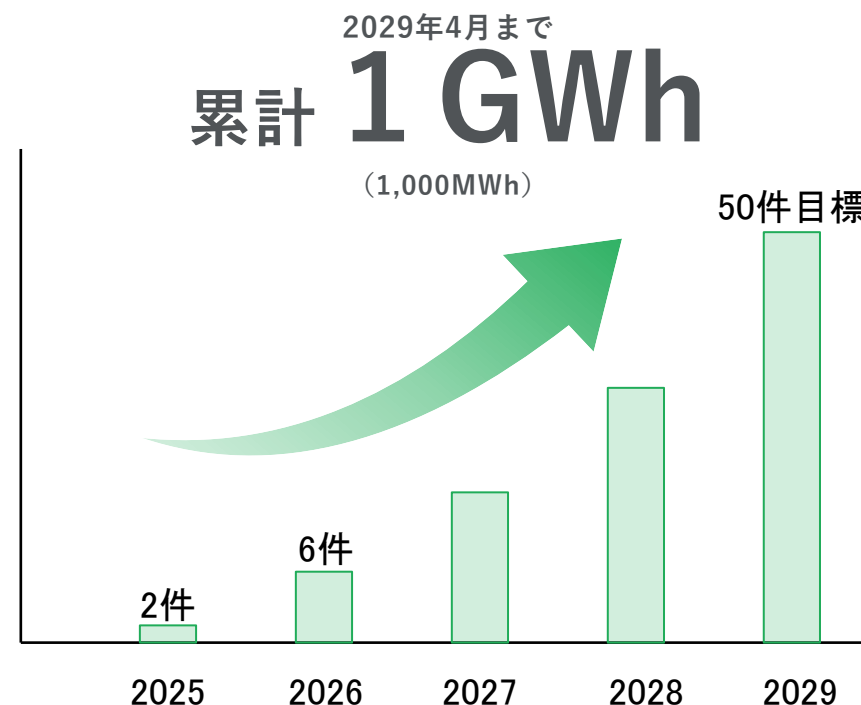
鹿児島県霧島市
千葉県印西市

### 26年4月期（予定）

和歌山県有田郡広川町
栃木県佐野市
大分県宇佐市
長野県上田市
徳島県吉野川市
自社所有蓄電所



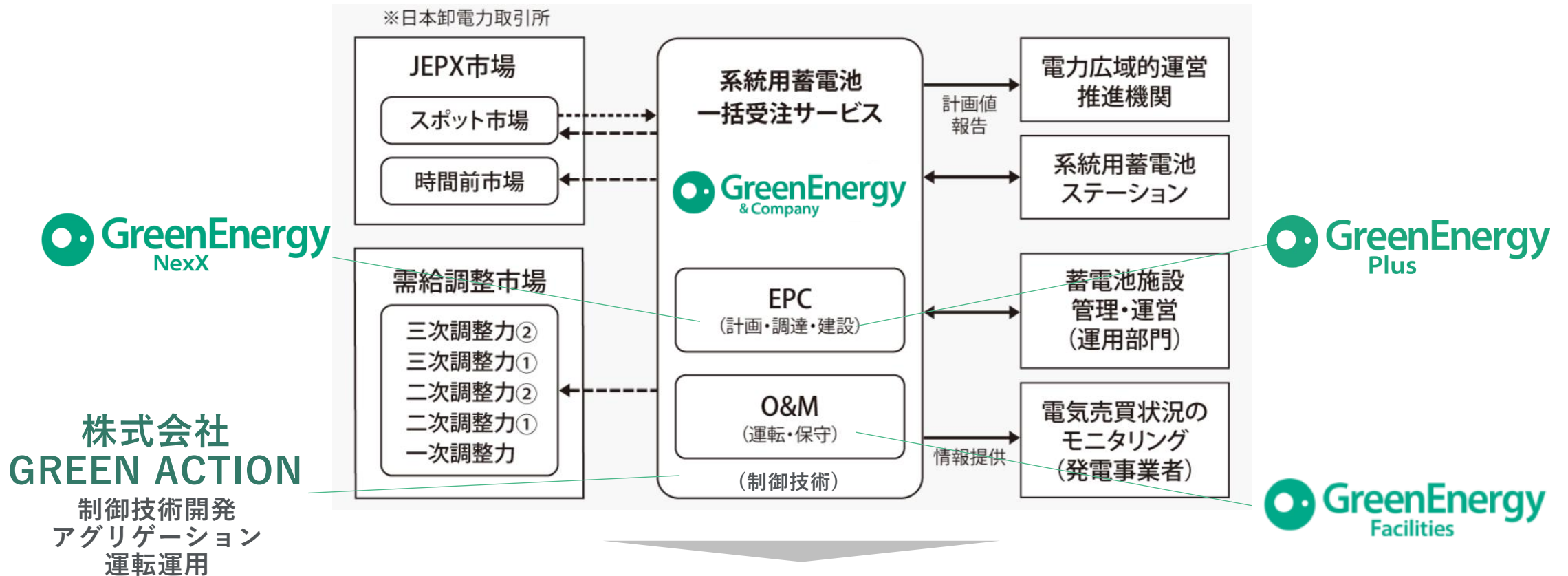
## 系統用蓄電所事業 長期開発計画



系統用蓄電池事業の強化を今後も推進して参ります

# 事業体制強化：株式会社GREEN ACTION子会社化

株式会社GREEN ACTIONを子会社化し制御技術・アグリゲーションも強化



系統用蓄電池事業の強化を今後も推進して参ります



# 3

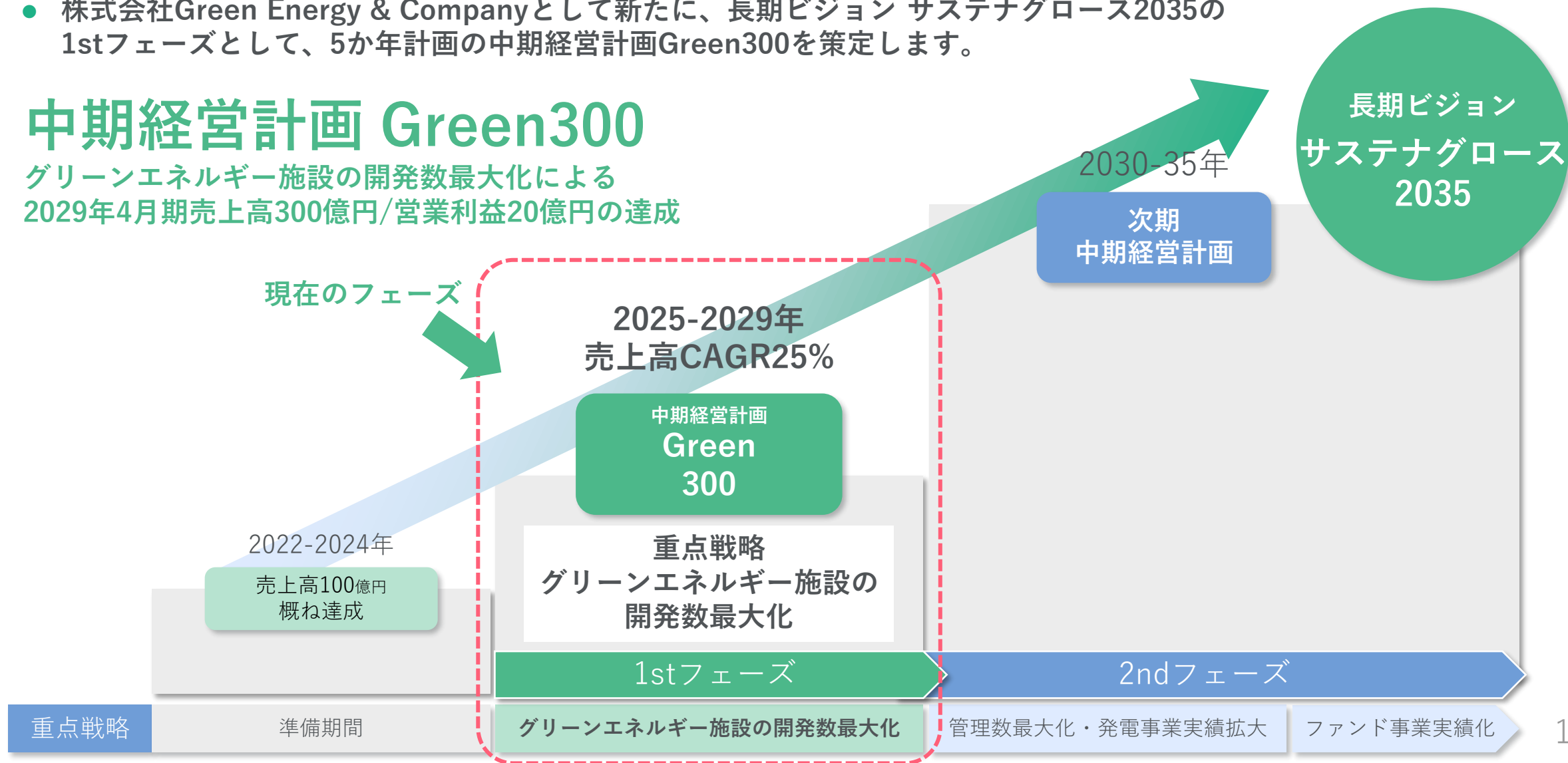
## 中期経営計画 Green300 (25年4月期- 29年4月期) の進捗

# 中期経営計画 Green300（25年4月期- 29年4月期）の位置づけ

- 株式会社Green Energy & Companyとして新たに、長期ビジョン サステナグロース2035の1stフェーズとして、5か年計画の中期経営計画Green300を策定します。

## 中期経営計画 Green300

グリーンエネルギー施設の開発数最大化による  
2029年4月期売上高300億円/営業利益20億円の達成



# 現在進行中の戦略：開発数最大化

- 2024年4月期までの準備期間を経て本中期経営計画においてグリーンエネルギー施設の開発数を最大化します。

## 太陽光発電施設

### FIT発電所EPC※



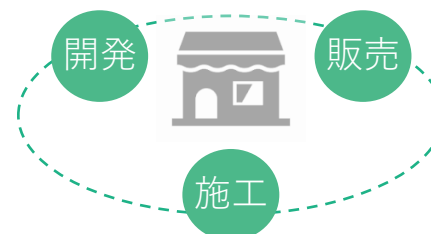
全国展開実績

### Non-FIT発電所EPC

関東エリア高圧発電所実績化  
低圧発電所開発体制構築

## ネットゼロ・エネルギー・ハウス

### 店舗ユニット



四国・大阪店舗数の拡大

これまでの取り組み

今後の戦略

低圧・高圧両面での  
開発進行本格化

エリア内ユニット数拡大  
(ドミナント戦略によるシェア拡大)

※ EPCはEngineering（設計）、Procurement（調達）、Construction（建設）の事業の事をいいます

# 現在進行中の戦略：太陽光発電施設の戦略進捗

- Non-FIT発電所 低圧・高圧両面での開発区画数が伸長
- 組織体制の強化と生産効率の追求を継続中

## Green300における取り組み

低圧・高圧両面での開発進行をグリーンエネルギー&カンパニーの強みである「規格化」をテコに開発・販売のスピードを加速化

### 重点戦略

	低圧	高圧
Non-FIT	開発体制の構築	関東での実績化
FIT	全国展開の実績積み上げ	全国展開の実績積み上げ

### エリア戦略

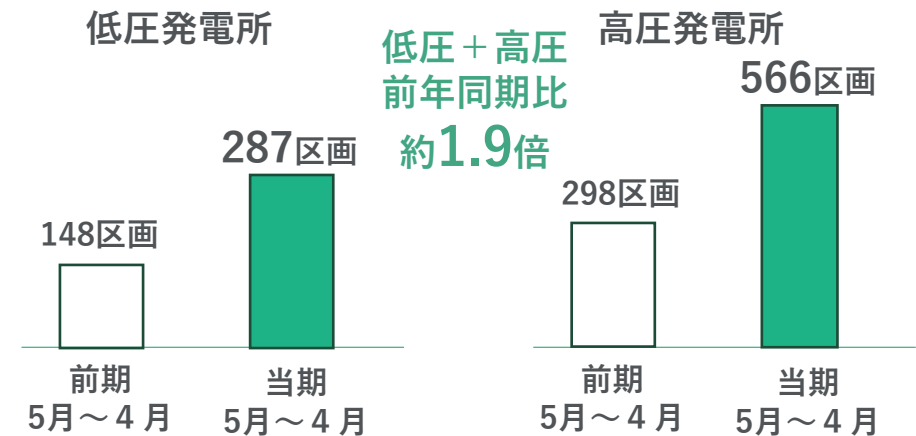
- ① 関東
- ② 四国
- ③ 中部（静岡・愛知・三重・岐阜・長野・山梨）

### 投資計画

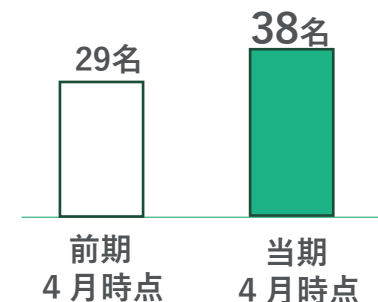
	人的投資	設備投資	DX投資	資本政策
Non-FIT	◎	○	◎	◎
FIT	○	△	△	△

※ ◎は重点投資、○は積極投資、△はニュートラルを意味します

## Non-FIT開発数※用地取得ベース



## Non-FIT組織人員数



## DX投資

各種土地データベース  
調査連携システム

施工管理システム強化  
ANDPAD採用・導入



# ネットゼロ・エネルギー・ハウスの戦略進捗

- 前期に拡大したユニット体制の軌道化が進み開発仕入棟数が順調に伸長

## Green300における取り組み

ドミナント戦略に基づく、エリア内におけるユニット数の拡大及び事業エリアの拡大

### 重点戦略①：店舗ユニット数の拡大



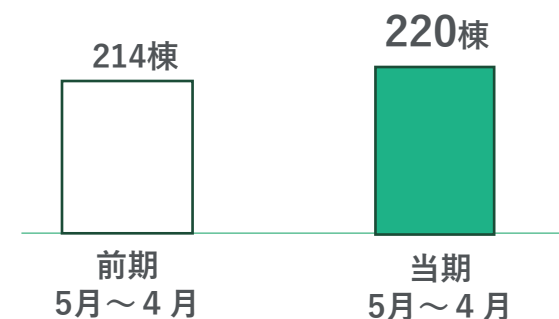
### 重点戦略②：事業エリアの拡大

- ・ 継続的に四国・大阪店舗数の拡大
- ・ 全国展開は、フランチャイズまたは事業買収により実施

当期は前期までに拡大したユニット・店舗の軌道化に注力

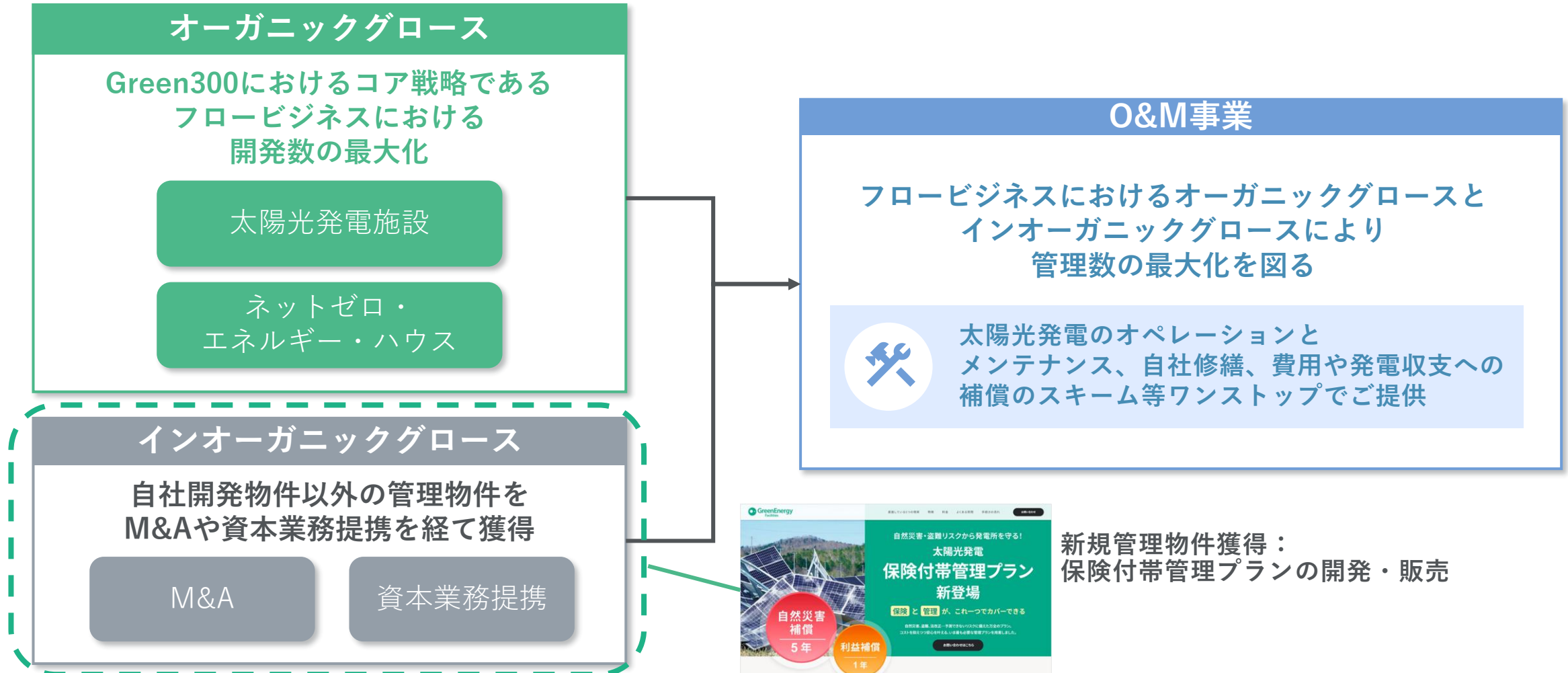
新規入社社員の稼働向上により進行棟数拡大を実現化

### 開発仕入棟数



# ストックビジネス戦略（O&M）

- フロービジネスにおけるグリーンエネルギー施設の開発数最大化によりストックビジネスのコアであるO&M事業における管理数の最大化を図ります。



4

## 年間トピックス

# 上半期トピックス：系統用蓄電所事業第1号案件が竣工

第1号九州霧島にて竣工、更に系統用蓄電池一括受注サービスも開発進行

## 第1号霧島蓄電池ステーション竣工



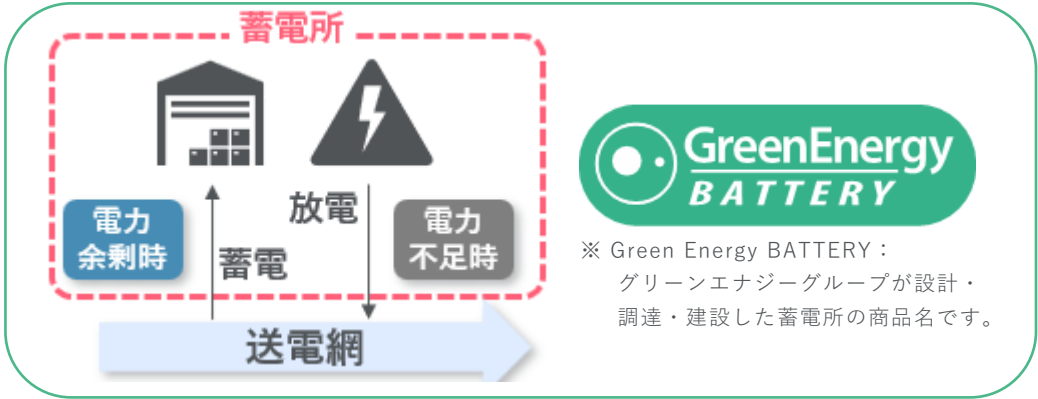
<事業概要>

事業名称	霧島蓄電所（旧名称：霧島蓄電池ステーション）※1
事業主体	合同会社霧島蓄電所
出資事業者	株式会社グリーンエネルギー&カンパニー 合同会社DMM.com 日本エネルギー総合システム株式会社
所在地	鹿児島県霧島市
定格出力	1.99MW
定格容量	8.128MWh
電池方式	リン酸鉄リチウムイオン電池
連系日	2024年6月12日

2号以降の複数案件も進行中。当期中の収益化を目指す

## 系統用蓄電池一括受注サービス

系統用蓄電池施設の開発～運用～保守まで  
ワンストップでサービスを提供



※計画上の発電量と実際の発電量との過不足（インバランス）の解消や、電力の効果的な市場取引を果たすために流通や制御を実施すること。



# 上半期トピックス：NIKKEI脱炭素プロジェクト参画開始

「マイクロGX」※を当社の取組みのテーマに2024年6月よりNIKKEI 脱炭素プロジェクトに参画

NIKKEI脱炭素プロジェクトとは、日本経済新聞社による日本の脱炭素社会を後押しする活動です。

同じ志を持つ企業、有識者、政府関係者らが集い、脱炭素社会を現実のものにしていくために活動・発信する取り組みです。

メンバーで意見を出し合い「提言/宣言」を作成、政府に提出する予定です。

## 参画企業（2024年9月9日現在）

・グリーンエナジー&カンパニー / EY Japan / アビームコンサルティング / 日本郵船 / 日本ガイシ / 関西電力 / みずほフィナンシャルグループ / 格付投資情報センター / JERA / 大阪ガス / 三井不動産 / ボストン・コンサルティング・グループ



2024年5月24日キックオフ会合  
(ホテル・ニューオータニ東京)

# 上半期トピックス：社員の働く環境支援GREEN制度スタート

## グリーンデイ



## グリーン ウォーキングMTG推奨



## グリーン ワークスタイル制度



## グリーンTシャツ 支給制度



## グリーン ショット制度



## 月間グリーンMVP 表彰制度



## グリーンカード制度



## グリーンランチ費用支援



## グリーン設備 購入補助金制度



## グリーンエネルギー& カンパニー持株購入支援制度



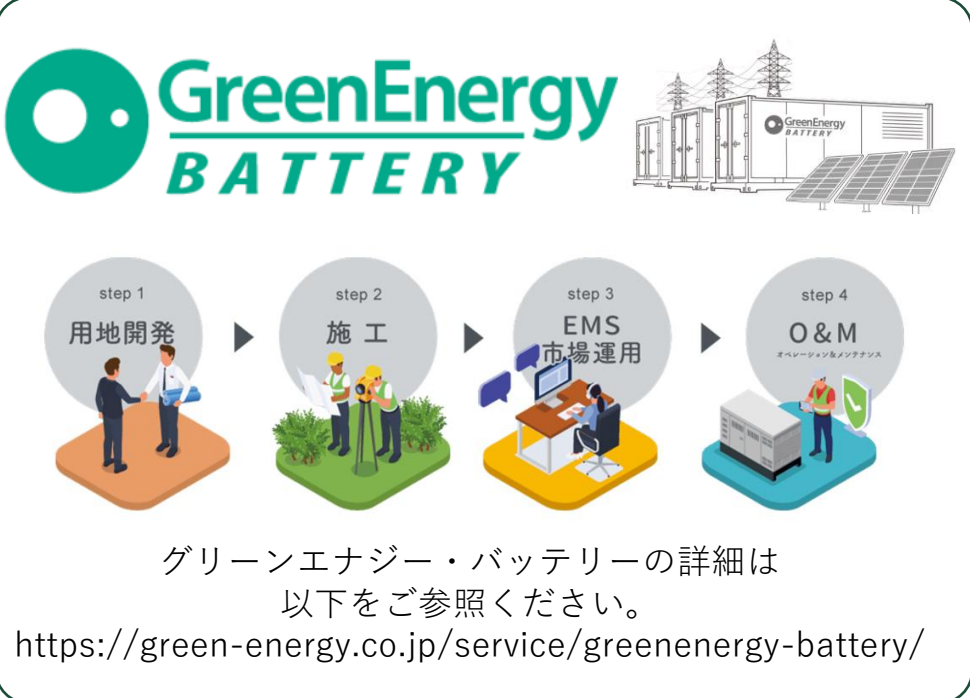
## グリーン 資格取得支援制度



詳しくはこちらをご覧ください。 <https://green-energy.co.jp/green-support/>

# 上半期トピックス：系統用蓄電池一括受注サービス成約

系統用蓄電池一括受注サービス「グリーンエネルギー・バッテリー」第一号成約受注獲得



The diagram illustrates the four-step process for GreenEnergy BATTERY:   
step 1 用地開発 (Land development)   
step 2 施工 (Construction)   
step 3 EMS 市場運用 (EMS Market operation)   
step 4 O&M (Operation & Maintenance)

グリーンエネルギー・バッテリーの詳細は  
以下をご参照ください。  
<https://green-energy.co.jp/service/greenenergy-battery/>

成約



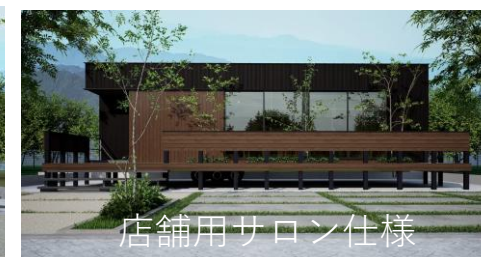
株式会社 グランディーズ  
系統用蓄電所事業

株式会社グランディーズ  
証券コード：3261  
(東京証券取引所グロース市場、福岡証券取引所Q-Board市場)

新しい取り組みである「系統用蓄電池事業」も順調に進行

# 上半期トピックス：トレーラーハウス〈ASOBOX〉開発・販売

再生可能エネルギーを活用、住宅メーカーとして培ったノウハウを活かし、規格化とDX化で高品質・低価格のトレーラーハウスを実現



固定資産税  
不要

建築確認申請  
不要

市街化調整区域  
OK

使い方自由  
(場所・用途)

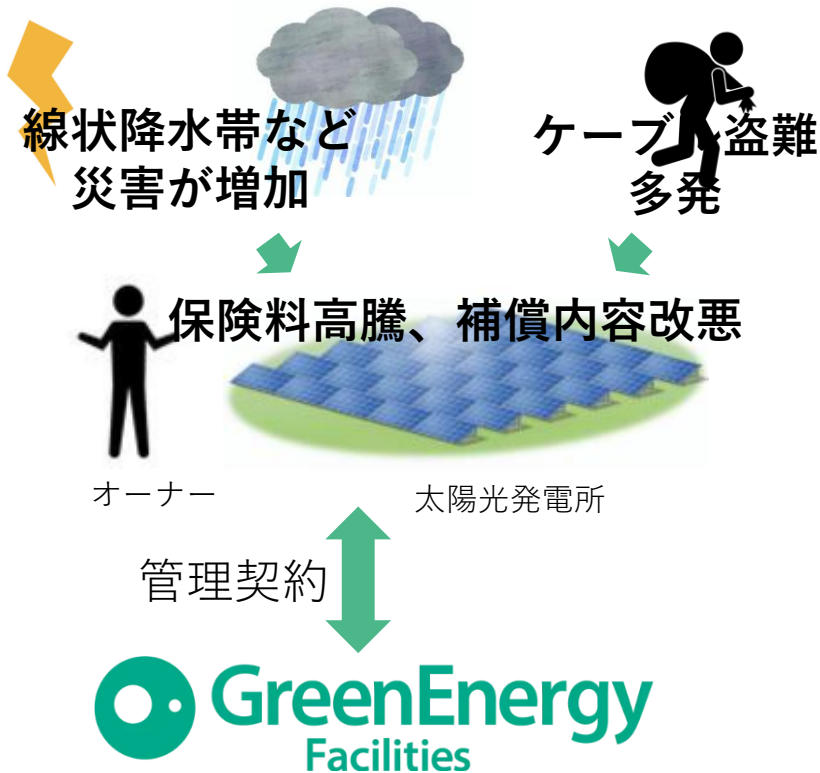
土地売却容易

災害復興  
活用可能

これまでのマイホーム需要に加え、住居型投資物件として個人投資家の新たな獲得が可能に

# 上半期トピックス：太陽光発電所「保険付帯管理プラン」開始

災害・盗難保険がセットになった太陽光発電所管理サービスを提供開始



GreenEnergy Facilities

自然災害・盗難リスクから発電所を守る！

## 太陽光発電 保険付帯管理プラン 新登場

保険 と 管理 が、これ一つでカバーできる

自然災害、盗難、法改正…予測できないリスクに備えた万全のプラン。コストを抑えつつ安心を叶える、いま最も必要な管理プランを用意しました。

お問い合わせはこちら

- 自然災害補償 5年
- 利益補償 1年

免責無※    セカンダリー可能    5年長期契約    保険+点検+除草

これらがセットで18万円/年でご提供

※盗難は免責50万円有

保険ニーズでお困りの発電所オーナーに訴求、新規管理物件の獲得拡大に寄与

# 上半期：NIKKEI脱炭素プロジェクト参画継続

当社の「マイクロGX」※構想を同プロジェクト総会にて提唱



NIKKEI脱炭素プロジェクトとは、日本経済新聞社による日本の脱炭素社会を後押しする活動です。同じ志を持つ企業、有識者、政府関係者らが集い、脱炭素社会を現実のものにしていくために活動・発信する取り組みです。メンバーで意見を出し合い「提言/宣言」を作成、政府に提出します。



10月 年次総会  
(ホテルニューオータニ東京)

※「マイクロGX」とは、個人事業者、家庭、地域コミュニティが小規模な単位で実践するグリーン・トランスフォーメーションをいいます

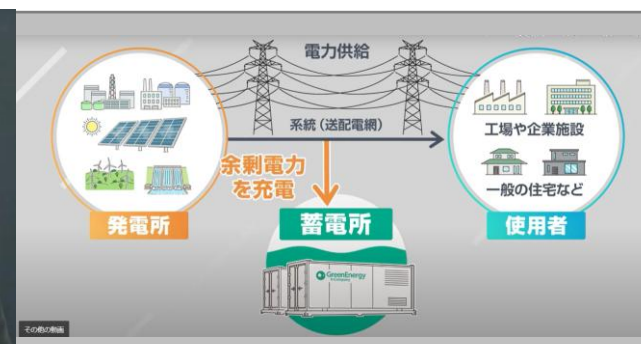


グリーンエネルギー&カンパニー  
代表取締役社長 鈴江崇文

個人や地域で形成するボトムアップ型の脱炭素社会普及の可能性と有効性を訴求

# 下半期トピックス：系統用蓄電所 開発が順調に進捗

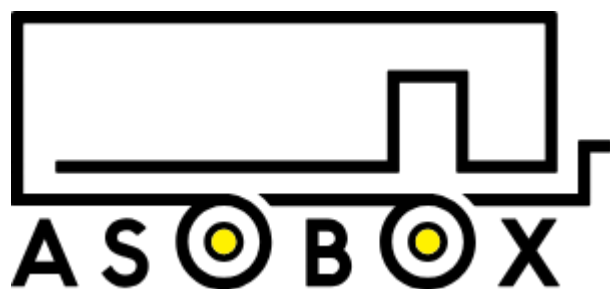
系統用蓄電池 千葉県印西市・栃木県佐野市案件他、成約や着工が多数進行



注力事業である系統用蓄電池の組成が順調に進捗しております

# 下半期トピックス：トレーラーハウスASOBOX 活況な展開

トレーラーハウスASOBOX 各種メディアにて取り上げられています



2/1  
月刊地主と家主  
(全国賃貸住宅新聞社)



11/29  
月刊スマートハウス



11/18  
物流新時代  
(トラック情報社)



業界でも注目度が高く多数のお問い合わせや商談依頼を頂いております



# 下半期トピックス：太陽光メンテナンス、日本PVプランナー協会より表彰

一般社団法人日本PVプランナー協会 全国大会（11/22）にて最優秀賞を受賞



当社のメンテナンス施工の品質性と安全性をより一層高めるべく努力を続けて参ります

# 下半期トピックス：スマート農業にて苔栽培で業務提携

2/10 グリーنز・グリーンHDと苔栽培技術で業務提携



農地の有効活用と太陽光発電収益の両立を実現

スナゴケ



当社施工の広島県にあるソーラーシェアリング施設で、苔栽培の実証中

今後も様々な「農業 x エネルギー」ソリューションを開発します

# 下半期トピックス：COP29 アゼルバイジャン現地会場から発信

11/19 アゼルバイジャンCOP29会場併設ジャパンパビリオン 鈴江崇文登壇

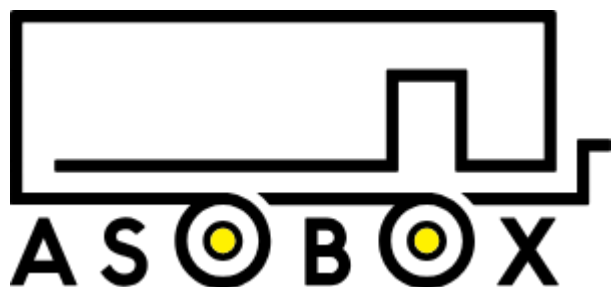


当社が提唱する「マイクロGX」構想を全世界へ向けて発信しました

※「マイクロGX」とは、個人事業者、家庭、地域コミュニティが小規模な単位で実践するグリーン・トランスフォーメーションを指します。

# 下半期トピックス：トレーラーハウスASOBOX 活況な展開

トレーラーハウスASOBOX 見学会を開催、多くの方のご来場を獲得



ASOBOX 見て・触れて・感じる、リアルなトレーラーハウス体験!

## トレーラーハウス見学会

3/28(金)・29(土)・30(日) **土日も開催!**

時間: 10:00~18:00 (予約不要)  
会場: トレーラーハウスASOBOX 展示場

写真やカタログでは分からない  
実際の広さや快適さを体感しませんか?  
☑ オフィス・店舗・住居・宿泊施設まで、多用途の快適空間  
☑ 予約不要&土日オープンで気軽に見学OK!  
☑ かしこい土地活用で、投資も節税もスマートに!

お問い合わせ・詳しくは  
電話(代表) 050-1871-0117  
担当携帯電話 090-1177-7006 **詳しくはWEBでも** 

トレーラーハウスASOBOX 展示場  
徳島市川内 国道11号線  
バイパス沿い



〒771-0130  
徳島県徳島市川内町  
加賀須野1069-23  
Googleマップはコチラ 

運営: 株式会社グリーンエナジー・ライフ  
徳島本社: 〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東一丁目44 TEL: 050-1871-0117(代表)  
東京本社: 〒105-0021 東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F TEL: 050-1871-0650(代表)

証券コード1436  
当社はグリーンエナジー&カンパニー(東証上場)の子会社です 

業界でも注目度が高く多数のお問い合わせや商談依頼を頂いております

# 下半期トピックス：太陽光メンテナンス、抑草シートを開発・販売開始

雑草対策新商品「抑草シート」を開発・販売、防草シートよりも低コスト＆簡単施工

防草シートよりも低コスト＆簡単施工！

## 「抑草シート」のメリット



手軽で安価



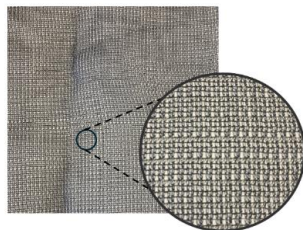
施工時間を  
約半分に短縮



プロのような  
技術不要



施工後は  
除草剤散布可



防草シート施工の場合



L型ピン+ハンマー：28本使用

所要時間：約6分

抑草シート施工の場合



専用ピン+ハンマードリル：22本使用

所要時間：約3分

当社のメンテナンス関連商品の研究開発を今後も進めて参ります

# 下半期トピックス：社員活躍環境支援「GREEN制度」拡充

グリーンジョブチェンジ、グリーンヴィジョンキャンプ、グリーンサースデー各制度を追加導入

## グリーンジョブチェンジ制度

**意義** 従業員のキャリア自律を支援し、挑戦する気持ちを尊重して、多様な才能を活かす

**内容** 社員一人ひとりが自らのキャリアを主体的に選択（手を挙げられる機会を創出）し、挑戦できる環境を提供するための制度です。現在の部署や業務にとらわれることなく、新たな業務領域・キャリアアップへチャレンジできる機会を提供することで、個人の成長を促進し、新たなキャリアを切り拓く機会を創出します。  
会社にとっても、従業員の多様な才能を活かし、組織全体の活性化とレベルの底上げを図る効果が期待



## グリーン・ヴィジョン・キャンプ制度

**意義** 集中思考の場で創造力や戦略的思考を強化、チームの一体感を醸成

**内容** 日常の喧騒から離れた海沿いや自然の中などの開放的な環境の施設を会社が提供し、チームのビジョンを描くための合宿制度です。オフィスや自宅ではなく、非日常空間に身を置くことで、複雑な課題の整理や、高い目標に向けた思考を深めることを目的としています。

**求める人材像** ②共感 ③チャレンジ ④自己実現 ⑤楽しむ心



[はこちら](#)

## グリーンサースデー制度

**意義** ワークライフバランスの向上

**内容** 毎週木曜日、定時になったら退社し（残業ゼロ）、自己研鑽、家族との時間、リフレッシュなどに使うなど、有意義に過ごすための取り組みです。

**求める人材像** ①元気 ⑤楽しむ心



社員の活躍するフィールドを更に拡大できるよう継続・強化してまいります。

# 下半期トピックス：社内大学グリーンエネルギー大学開校

社員のDX/GX/マーケティングの高度知識取得を目的に社内大学を開講

## **グリーンエネルギー大学**



### GX（グリーントランスフォーメーション）カリキュラム

環境課題への対応と持続可能なビジネスの実現を目指し、再生可能エネルギーに関する知識や技術、エネルギー効率改善、カーボンニュートラルに向けた戦略など、環境変革に必要な知識と実践力を養います。



### DX（デジタルトランスフォーメーション）カリキュラム

デジタル技術の高度な進化を背景に、業務の飛躍の効率化や革新的なビジネスモデル（商売のしくみ）創出を実現するため、最新のデジタルツールやデータ解析、AI活用の手法など、実践的なスキル習得を支援します。



### マーケティングカリキュラム

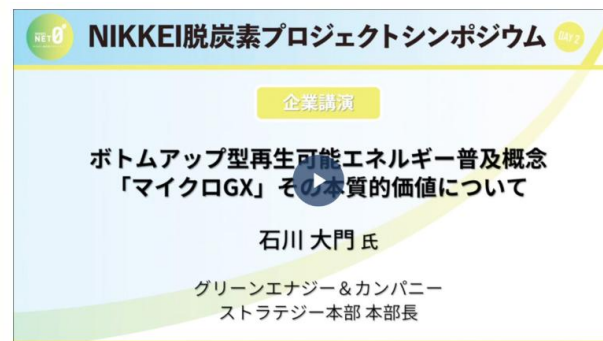
変化する市場環境に対応するため、デジタルマーケティング戦略、ブランド構築、顧客エンゲージメントの手法など、先進的なマーケティング手法の習得を通じ、商品価値、事業価値、企業価値を向上させる技量を磨きます。

高度な知識を学ぶ社員を増やし再エネ市場にとって価値ある人財の輩出を強化します。

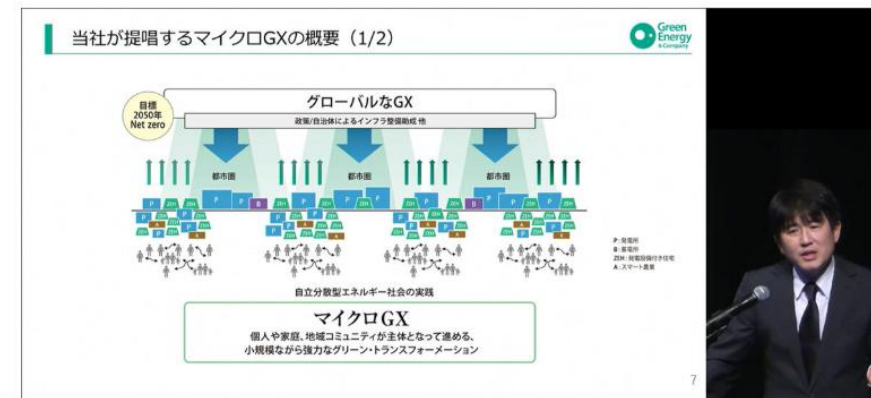
## 3/11 NIKKEI脱炭素プロジェクトシンポジウムにて企業講演



NIKKEI脱炭素プロジェクトとは、日本経済新聞社による日本の脱炭素社会を後押しする活動です。同じ志を持つ企業、有識者、政府関係者らが集い、脱炭素社会を現実のものにしていくために活動・発信する取り組みです。メンバーで意見を出し合い「提言/宣言」を作成、政府に提出します。



日経ホール  
(東京都千代田区  
大手街1-3-7  
日経ビル3階)



当社が提唱する「マイクロGX」構想の本質的価値や有効性を発信しました。

※「マイクロGX」とは、個人事業者、家庭、地域コミュニティが小規模な単位で実践するグリーン・トランスフォーメーションを指します。



# 5

## Appendix

Purpose

Vision

Value

サステナブルな  
社会の実現を  
新しい常識で



個人参加型、  
持続可能エネルギー社会  
の実現

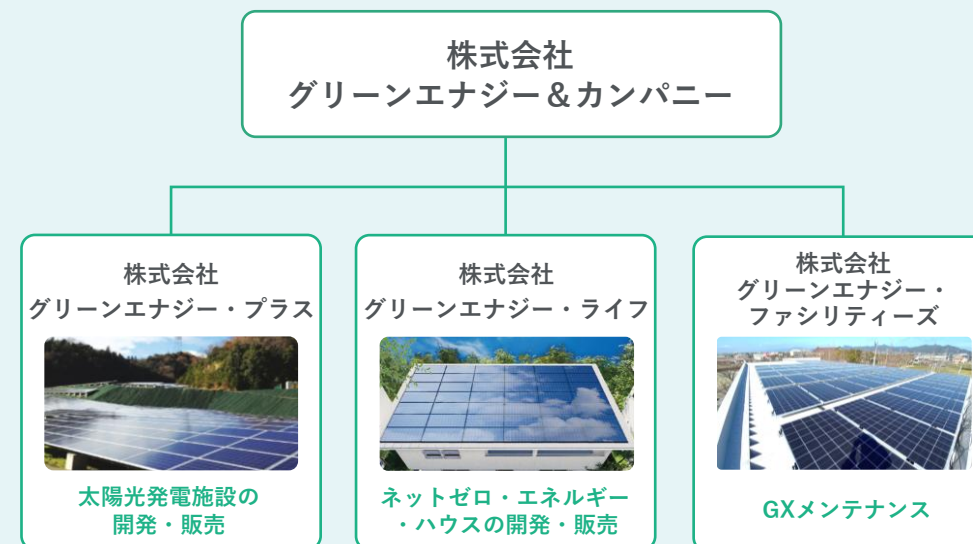
Governance : 誠心・誠意・誠実に  
Rock : 楽しく！仕事も人生も  
Engagement : お客様と社会と共に  
Execute : ACTION ACTION ACTION  
New Challenge : 自分事で積極的に

# 会社概要



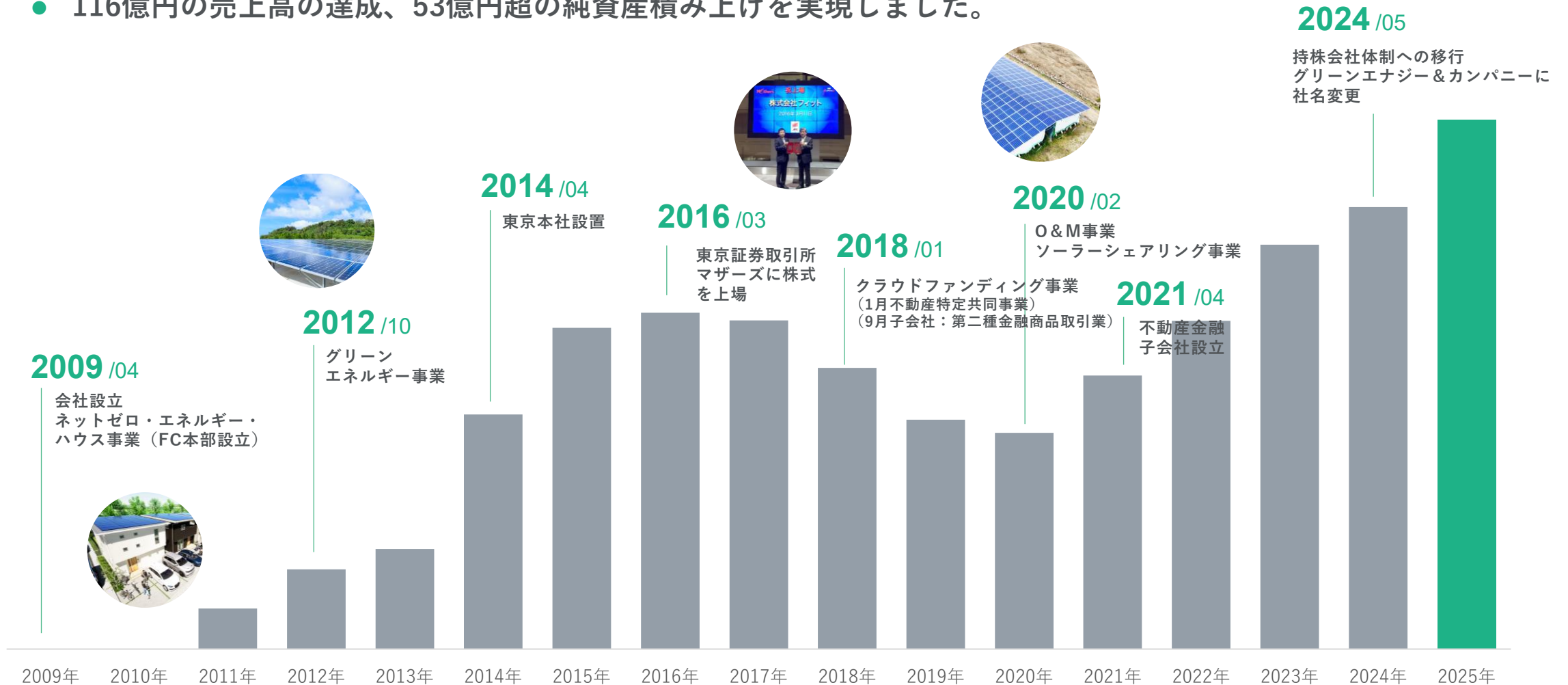
商号	 株式会社グリーンエネルギー&カンパニー
上場	東京証券取引所グロース市場 1436 
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
本社所在地	東京本社：東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F 徳島本社：徳島県板野郡松茂町 中喜来字群恵39番地1
創立	2009年
資本金 ※2024年4月末日時点	970百万円（資本準備金含む）
連結従業員数 ※2025年4月末日時点	160名
連結売上高 ※2025年4月末日現在	116億円
事業内容	GX関連企業で構成されるグループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

- 2009年 徳島県で創業  
ネットゼロ・エネルギー・ハウス事業に参入
- 2012年 グリーンエネルギー事業に参入
- 2016年 東証マザーズ上場（徳島県で初）
- 2024年 社名変更 持株会社体制へ移行



# 成長の軌跡

- 116億円の売上高の達成、53億円超の純資産積み上げを実現しました。



# グリーンエネルギー & カンパニーの起源 ～Origin～

- 規格化と再エネの掛け算がグリーンエネルギー & カンパニーの起源になります。



## 株式会社グリーンエネルギー & カンパニー 代表取締役社長 鈴江 崇文

1997年：大手ハウスメーカー入社、注文住宅営業を担当  
2001年：大手建材メーカーグループ入社、住宅フランチャイズ加盟店の指導を担当  
2003年：徳島県のゼネコンに入社、営業推進業務と企業改革を担当  
2009年：株式会社フィットを設立  
2012年：クリーンエネルギー事業への取り組み  
2016年：東証マザーズに上場  
2024年：グリーンエネルギー & カンパニーに社名変更

## 規格化

- 徳島県の負債を抱えたゼネコンにて、業界不況の中で大改革を断行しました。20億円以上の既存事業をすべて縮小し、新規事業として「規格化」をテーマに、極限まで無駄を削ぎ落とし効率を追求した「規格型住宅事業」に取り組み、経営危機を乗り越える
- 当事業は全国の建設業界で注目される実績を上げる
- 当事業を独立させ、株式会社フィットを設立

## 再エネ

- 2011年のドイツ視察にて、ソーラーエネルギーなどのエネルギー政策、公共交通機関を中心とした都市デザイン、緑の保護条例など、先進環境対策と快適性が注目される都市、フライブルクに出会う。
- その地域経済活性化と域内循環モデルの原動力が再生可能エネルギーであったことから、このスキームを日本の地域経済循環モデルに活かすことを着想。

# グリーンエネルギー&カンパニーのプロダクト

- 太陽光発電施設、ネットゼロ・エネルギー・ハウス等の低圧グリーンエネルギー施設の規格化ノウハウを活かし全国へ展開します。

## 太陽光発電施設

再生可能エネルギー発電所



営農型太陽光発電所※1



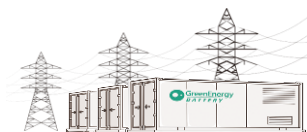
## 系統用蓄電所

系統用蓄電所※2



系統用蓄電池一括受注サービス

# GX-Pack



## ネットゼロ・エネルギー・ハウス

スタンダードモデル アップグレードモデル



「稼働できる」家



「稼いでくれる」家



「シェアする」家



## スマート農業

アグリファクトリー



ソーラーシェアリング（施設型）



ソーラーシェアリング（露地型）



※1 営農型太陽光発電所は、農地に太陽光発電パネルを設置し、農業と発電を同時に行う発電所をいいます  
 ※2 系統用蓄電所は、電力系統に接続する大規模な蓄電池をいいます

## グリーンエネルギー施設※1開発数

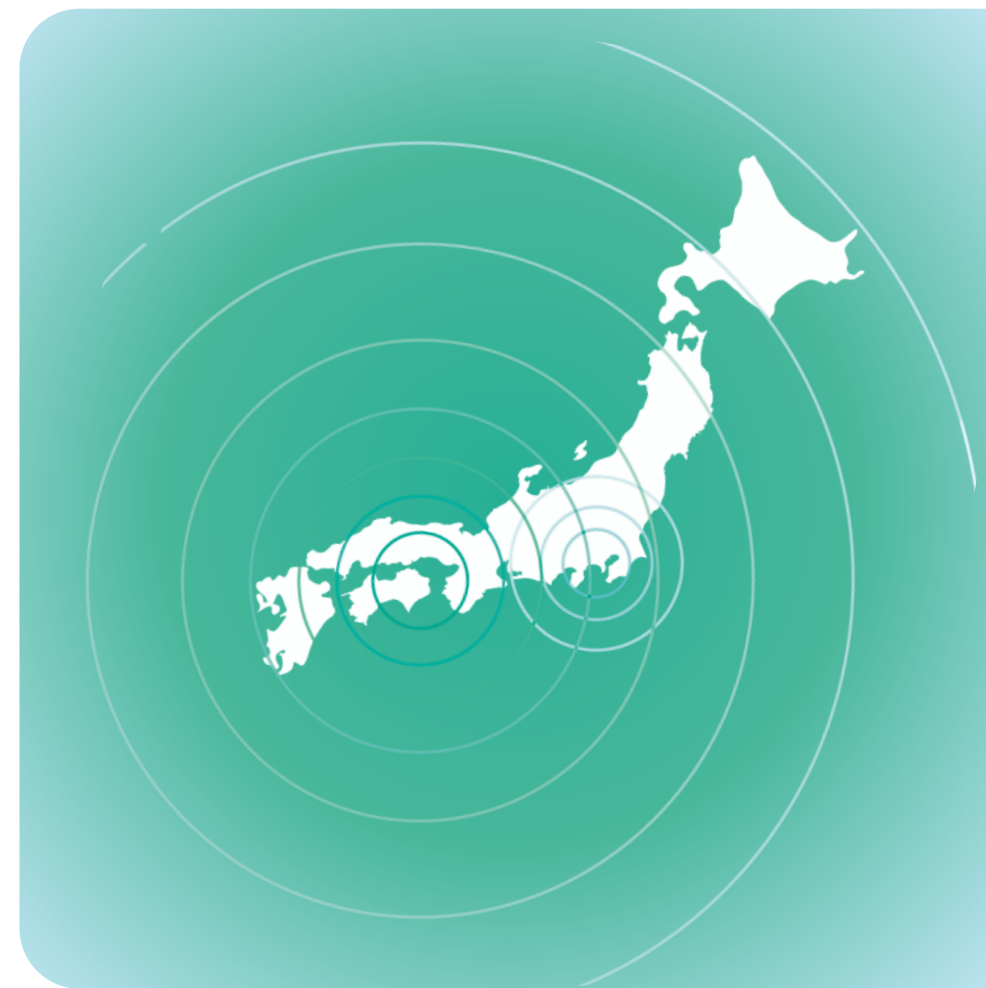
5,135件※2

太陽光発電施設開発数（2025年4月時点）および  
ネットゼロ・エネルギー・ハウス※3開発数（2025年4月時点）の合計

※1 グリーンエネルギー施設は、太陽光発電施設とネットゼロ・エネルギー・ハウスの総称をいいます

※2 創業来の会社集計値

※3 ネットゼロ・エネルギー・ハウスは、年間で消費するエネルギー量を実質ゼロ以下にする家（ZEH）をいいます



本参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。

会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関する問い合わせ先：ir@green-energy.co.jp